

自然との共生をめざす

ジエイ農園

丹波だより

2022年12月号 NO.54

師走。今年も足早にここまで来てしまいました。皆さまは、どんな一年でしたでしょうか？

私たちにとっては、今年、大きな天候不順もあり、慌ただしい年でもありました。しかしながら、仲間も増え、ご贖員にして頂けるお客様も増え、一番に収穫量も増え、ある意味、実りの多い恵まれた年になった感じがします。ありがとうございます。

この一年の私たちの「学び」は、天候不順でありながら、想像以上に豊作に恵まれたことにあります。予想外の雨で植え付けが遅れたり、予想以上の日照りで収穫のタイミングがズレたり、昨年にはない虫や動物や鳥に作物を食べられたりと、振り回されっぱなしだったのですが、どうにか、こうにか、なんとか、かんとか、仲間たちの技術力の向上と、知恵と工夫の辻褃合わせの結果、予想外に『豊作！』となりました。

乾かない圃場でも、果敢に「苗」を植えたり、ダメもとでタネを蒔いたり、熱射に耐えながら日照り続きの圃場に水撒きし、獣除けの「ワイヤーメッシュ」を急遽張り巡らし、鳥よけの「タカ」を模したタコを上げ、あちこち浸水を防ぐ溝を掘り、「氷上(町)」がだめなら「春日(町)」でと、チームワークとコミュニケーションで乗り切った一年となりました。

しかし、この「自然とのお付き合い」の大変さに「深刻」にもならず、落ち込みもせず、ある意味「面白く」過ごして行くことができるのも、一つには、「仲間意識」で集まっている集団だからこそ、誰かの「責任を問う」のではなく、前を先を、今後を考えて「さあどうする？」「次にどうすればいいか？」と前向きに常に話し合える「共生集団」だからこそだと思います。

もう一つには、私達の農業では、「農薬や肥料を使わない」と全員で決めているため、ひとつひとつの作物にちまちまと毎日、色んな作業を通じて収穫まで関わり続けます。それ故、そのひとつひとつの作物の表情や様子や成長を細かく見守ることになり、化学薬品に頼っていない分、育ち具合の違いや変化を直ぐに捉え、対処していく(しなければならない)ところが今年の「豊作」に繋がりました。

そういった日々の営み(苦労と工夫)の中で、天候不順や国際情勢の変化(資源、穀物、エネルギー不足によるインフレから化学肥料・農薬・エネルギーの高騰)にも耐えて、今年は、「自分たちの立ち位置」をはっきりと再認識できたように感じます。本当にお互いに「有難う」です。

一般に「愛は循環する」と言われます。「与えた分だけ戻ってくる」とも言われます。その意味では、大自然に生かされている人間が、必要な物を大自然から頂き、その分「何を自然にお返ししているのだろうか？」と考えてしまいます。ですが、この空間、この時代、この人間関係が修行の場と考えれば、なんとなくその意味が分かるような気がします。

一番に、おそらく地球(ガイア)は我々に代償を求めてなどいないのです。無条件に私たちの成長を微笑んで見守って頂いているのだと感じます。その分来年も、自然にも、社会にも、仲間にも、一生懸命愛他心を持って生きていきたいと思います。

来年もよろしく願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

(文責:社)

十数年前、丹波へ来て思ったのは、田んぼで「スズメ対策をほとんど見かけない」ということでした。

田んぼの景色と言えば、小学校の登下校時に見たスズメ除けのための案山子や大きな目玉模様のビニール風船、キラキラと光るテープなどが印象に残っています。

どうしてスズメ対策が不要になったのでしょうか、少しネットで検索して出てきたのは、2009年の「住まいマガジンびお」の記事(<https://bionet.jp/2018/02/13/suzume/>)、『近頃スズメを見かけなくなった。何故だろう？』でした。

ちょうど、丹波に来た頃の記事。そこでは、大学の調査結果から、1960年ごろと比較すると90%のスズメが減少。1990年以降でも80～50%程度減少しているということが紹介されていました。

スズメの減少の理由として、その調査では「子育ての環境変化」=住宅に巣をつくる隙間が減ったことをあげておられました。都市部では言えることかもしれませんが、周囲を見渡してみても古い家屋の多い丹波では当てはまらないような気がします。

スズメは雑食ですが、春から夏にかけての繁殖期には主に虫を捕食するようで、中国でスズメを撲滅しようと1年間に11億羽以上を捕獲した結果、農作物の害虫が増えて凶作になったほど。単純に考えて、エサである虫の減少というのが大きな原因のような気がします。

農薬の“生産額”を見ると※、1960年ごろからピークの1995年ごろまででおよそ10倍以上になっています。虫や虫を育む草などが減ったことで、スズメも減り、田んぼの景色も変わったということでしょうか。

そして今、水田で見られるのは、シカやイノシシからお米を守るために周囲に張り巡らされたネットや電気柵など。シカもイノシシも稲穂を食べます、しかも容赦なく食べつくしてしまう勢いで。ジエイ農園でも一部の田んぼ(畑でも)で金属製の柵とネットで囲いをして防いでいます。手加減のない両者に「恨み」や「復讐」とは違う形で、共存できる対策ができたらと思うのですが悩ましい問題です。

(文責:上野)

※JCPA農薬工業会https://www.jcpa.or.jp/qa/a5_12.html 掲載

図1. 農薬の生産金額の推移(農薬概説2020 図5-6より)参照

2022年12月ジェイ農園出店予定

どこかに貼ってお使いください♪

日	月	火	水	木	金	土
				1 ミオソラマルシェ	2	3 ちいさなとしょかん
4 西宮 ciao_mami MAINDISH DELICATESSEN.	5	6	7 淀屋橋オドナマルシェ	8 ミオソラマルシェ	9 中之島直売所	10 ろっこうおーがにつく市
11 林自動車 MAINDISH DELICATESSEN.	12	13	14	15 ミオソラマルシェ	16 中之島直売所	17 ちいさなとしょかん
18 西宮 ciao_mami MAINDISH DELICATESSEN.	19	20	21	22 ミオソラマルシェ	23	24 ろっこうおーがにつく市
25 林自動車 MAINDISH DELICATESSEN.	26	27	28	29	30	31



弊社では採れたての野菜やお米等をマルシェや店舗様等の軒先にて出張販売をさせていただいております。ぜひお近くのお店にお立ち寄りくださいませ。スタッフ一同心よりお待ちしております。

販売先でのお取り置きやご自宅へのお届け等もいたしておりますので、スタッフにお気軽にお声がけくださいませ。

※マルシェ等は、コロナ禍等による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等に伴い、主催者様等のご判断によりやむなく中止となる場合がございます。弊社のFacebookやInstagram等にて事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。

ホームページでは、**野菜セットの販売やお米の販売等**を行っています。QRコードからスマートフォン等で手軽にご覧いただけます。出店等のご希望の主催者様もお気軽にお問い合わせくださいませ。

●連絡先 ご注文も、出店のお問い合わせもいずれも承ります♪
メールアドレス: tamba@j-farm2009.com 電話番号: 0795-78-9041



▲野菜セット



▲お米



スマートフォンのQRコードリーダーを立ち上げて読み込んでお使いいただけますと、弊社ホームページを簡単に開くことができます。どうぞご利用くださいませ。

販売店

各店にてジェイ農園の作物を販売していただいています♪

- ココモ春日店様 兵庫県丹波市春日町七日市648
- JA丹波ひかみ「とれたて野菜直売所」様 兵庫県丹波市氷上町市辺440
- Fu-do*Foods様 兵庫県宝塚市中野町1-7-101
- ナナファーム須磨様 兵庫県神戸市須磨区外浜町4-1-1
- ゆば工房「半升」様土曜日 京都府京都市中京区麩屋町通竹屋町西入ル笹屋町727号 ※こちらは土曜日のみ
- エコスペースゆう様 大阪府大阪市天王寺区勝山2-19-1

イベント出店

マルシェや出張販売も行っています♪

◇マルシェ

- ミオソラマルシェ様 12:00-19:00
場所: JR天王寺駅公園口
日程: 12/1(木)、12/8(木)、12/15(木)、12/22(木)
- 中之島直売所様 11:00-19:00
場所: フェスティバルプラザ地下1階
地下鉄淀屋橋駅から徒歩5分
日程: 12/9(金)、12/16(金)
- 淀屋橋オドナマルシェ様 11:00-16:00
場所: 淀屋橋odonaビル正面入口前(地下鉄淀屋橋駅直結)
日程: 12/7(水)
- ろっこうおーがにつく市様 10:00-13:00
場所: 兵庫県神戸市灘区八幡町4-9-22 神戸学生青年センター
日程: 12/10(土)、12/24(土)

◇出張販売

- 林自動車様整備工場前 10:00-13:00
場所: 兵庫県神戸市灘区烏帽子町3-1-16
日程: 12/11(日)、12/25(日)
- 西宮ciao_mami様 10:00-13:00
場所: 兵庫県西宮市上甲子園3-6-11
日程: 12/4(日)、12/18(日)
- 灘区桜ヶ丘町「ちいさなとしょかん」様前 10:00-13:00
場所: 兵庫県神戸市灘区桜ヶ丘町親和中学校西側
日程: 12/3(土)、12/17(土)
- MAINDISH DELICATESSEN.様 15:00-17:00
場所: 兵庫県芦屋市翠ヶ丘町7-10
日程: 12/4(日)、12/11(日)、12/18(日)、12/25(日)

※元町水曜日は、12月はお休みです。
次回は2023年1月18日(水)開催です。
※年末年始の発送業務: 2022年12月31日(土)~2023年1月3日(火)の出荷はお休みさせていただきます。

温故知新スタイル！

栗きんとん



材料 (2人前)

- ・さつま芋・・・200g
- ・栗・・・2～3粒

作り方

- 1 さつま芋を洗い、湿らせたキッチンペーパーとアルミホイルで包む
- 2 1をオーブンで焼く
(余熱なし200度で約100分)
- 3 粗熱が冷めた2の皮を剥いてマッシュして形を整え、上に栗(甘栗・甘露煮・渋皮煮など)を乗せて完成！

もう今年も年の瀬になってしまいましたね～。去年に引き続きお節のレシピを紹介させていただきましたが、今回はかなりチャレンジしてみました！それがこちらの温故知新スタイル栗きんとんです。お正月は本来神様を迎えるための祝賀行事であり、お節で神様をおもてなしするという意味があります。日本では古来より神様と一緒に食事をいただくという思想があったため、祝い箸という両方の先端が細くなっているお箸でお節を食べます。自分が口をつけない方の先端は、神様が使う為に細くなっています。また、お節料理にはそれぞれ縁起の良い意味や願掛けがあり、例えばご紹介させていただいた栗きんとんには金運上昇の願いが込められています。が、しかし現代においてお節を手作りする家庭は減り、もはや買うことすらしないという家庭もあります。なにせお節料理は品数が多いし、面倒くさい。それならばいっそのこと、もっと簡略化してしまえば良いのではと考えました。別にくちなしでわざわざ芋を黄色にしなくても良いし、芋をみりんと砂糖で煮込みながらペーストにするのが面倒なら最初からねっとり系のさつま芋（紅はるか、シルクスイートなど）を焼き芋にすればそれをマッシュするだけで十分な甘味→



シンプルイズベスト！

里芋の含め煮

作り方

- 1 里芋の皮を剥き水に浸け、アクを流す
- 2 1を水から中火で茹でて、大体火が通ったらザルにあげて流水で洗う
- 3 鍋に全ての調味料と2を加え、落とし蓋をしながら弱火で約20分煮る
- 4 そのまま皿に盛りつけてもいいし、2～3時間、もしくは1晩寝かせると味が染みるのでなおよし
- 5 細く切った柚子の皮を飾って完成！

材料 (2人前)

- ・ 里芋 400g
- ・ 砂糖 大匙1
- ・ みりん 大匙1
- ・ だし汁 150ml
- ・ 薄口醤油 . . . 大匙1/2
- ・ 柚子の皮 少々

レシピ担当：自然派喫茶『まひるの月』
自然栽培やオーガニックなど身体に優しいメニューを提供している徳島県うだつの町並みにあるカフェ。
ドリンクは全てヴィーガン、フードも全てベジ仕様。

※無ければ普通の醤油でもOK！

→です。栗を一つ一つ自分で剥いて、甘露煮にする必要なんてない！別に作り置きしておいた渋皮煮でも、甘栗だっていいじゃない。正月に普段は会えない親族が集まって皆で一緒に楽しく食事をする。大切なことを見過ごされがちな今、それだけで良いと思ってしまいます。その際、一品でも手作りのお節料理があったなら、それはきつととても素敵なこと。全部手作りなんかじゃなくて良い。お重に詰めなくたって良い。もっとフランクに、カジュアルに。気負わず・楽しみながら、今年は簡単なお節料理を作ってみてはいかがでしょう？それでは、よいお年を。

ジェイ農園について

✓ ジェイ農園の由来

2009年、もともと兵庫県姫路市の学習塾の成員であったメンバーが一念発起、「本物の食」をめざし、仲間の支援を受けながらスタートしました。「固定種」「自然農法」へのこだわり、「突然大発生する虫や病気」との悪戦苦闘。そしてようやくたどり着いたのが「自然微生物農法」です。

✓ ジェイ農園がめざすこと

おびただしく酸性化した自然環境を微生物の力を借りて中性に戻し、本来の力強く生命力にあふれた圃場を再生したい。

その土壌が育む生命エネルギーの充満した作物を「基本の食材」として広めたい。子どもたちのアトピーや昔ではありえない病気を自然の力で克服していきたい。

農作物のオンライン販売

✓ お米のご注文はこちらから！



✓ 野菜セットのご注文はこちらから！



最新情報

✓ Instagram



@j_nouen

#ジェイ農園

✓ facebook



@jnouen

「いいね！」や「フォロー」
お待ちしております！

自然との共生をめざす

ジェイ農園

〒669-4274 兵庫県丹波市春日町棚原78
TEL 0795-78-9041 FAX 0795-78-9042
MAIL tamba@j-farm2009.com
WEB <https://www.jnouen.com/>